

カラダの 相談室

梅田 脳・脊髄・神経
クリニック(大阪)
町田脳神経外科(東京)

理事長 田辺 英紀さん

第1回

顔面けいれん・ 三叉神経痛

顔の片側がピクピクする、突然激痛が起る病気があります。

A 顔がピクピクするのは顔面けいれんで、初期の症状は眼瞼(がんけん)のピクピクです。その後段階的に、ほほ、口の引きつりが始まり、顔全体がけいれんする進行の過程をとることが多くあります。

突然起くる激痛は三叉(さんさ)神経痛で、症状は片側のおでこ、眼の奥、鼻の横、歯茎の痛み、あと、耳に放散する痛みなどです。

洗顔や冷気、歯磨き、食事、化粧、会話などがトリガーになり頻に激痛が走ることが少なくありません。

これらの疾患は症状の出る部位が眼やほほ、耳、口などで患者さんは眼科や皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科など受診科に迷われます。

ただ、この疾患は診断が間違てなければ本当に良くなる病気です。このような症状が続き、他の診療科で改善できなければ、脳神経の障害や脳腫瘍の可能性を疑うことが大切です。まずは脳神経を専門に診る脳神経外科を受診し、MRI検査を受け、原因を明らかにしてください。

この2つの疾患は、脳腫瘍などが原因のこともありますが、ほとんどは脳神経の内、三叉神経(感覺と運動神経)、または顔面神経(運動神経)に問題が生じて起きます。この2つの神経は脳幹から直接延び、頭蓋骨の小さな穴から出ています。そこに加齢で動脈硬化を起こした微細血管が蛇行、延長し、神経に接触・圧迫して痛みやけいれんを起こすのです。

Q 顔面けいれんと三叉神経痛の治療法はあるのですか。

A 顔面けいれんの薬はあり

ませんが、緊張すると起こります。そのため精神安定剤を処方することもありますが、基本的に効果はありません。また、緊張した筋肉を和らげる薬剤を注射するボトックス治療がありますが、根本的な治療ではありません。

三叉神経痛は抗てんかん薬がよく効きます。あるいは、近年、特殊な神経の痛みを取る薬があり、ある程度は薬で病気と付き合えます。あとは、麻酔科による神経にダメージを与えて痛みを取る神経ブロックもありますが、しひれの副作用が出ることもあります。

最終的には95%以上の根治が望める手術です。ただ、手術を選択する基準は、まず生活や趣味、仕事などに障害があるかどうかが境目です。それらに支障がなければ経過観察を含め保存治療が治療方針のスタンダードです。しかし、生活などに困っているなら手術をお薦めします。

顔面けいれん三叉神経痛の手術はほとんど同じです。神経と接觸している血管を、神経から離す顕微鏡下の低侵襲な手術で、翌日から歩行可能です。手術は全身麻酔で、耳の後ろの皮膚を約5cm切り、骨に500円玉ほどの穴を開け、神経と血管を見つけ、血管を神経から離して固定します。手術時間は約2時間半。

当クリニックでは提携する大坂府下の2カ所の病院に入院していただき、私が執刀していまます。また、町田市の病院でも手術を行っています。この病気は手術(脳神経減圧術)で原因そのものが解消し、根治が望めます。困っている人は日本脳神経減圧術学会の医師に相談してください。(次回は首の痛み、手のしひれ、使いにくさ)

たべ・ひでき

1984年、大阪医科大学卒業。

医学博士。北野病院などで脳神経外科手術の研鑽

を重ね、城山病院院長や田辺脳神経外科病院院長

を歴任。年間600件以上の脳・脊髄手術を行う。

2020年より梅田脳・脊髄・神経クリニックと

町田脳神経外科(東京)の理事長を兼任。24年、日

本脳神経減圧術学会会長。

☆梅田脳・脊髄・神経クリニック 大阪市北区太融寺町3の24 日本

生命第二ビル1階 Tel 06・6312・0011

☆町田脳神経外科 東京都町田市根岸町1009の4 Tel 042・

798・7337

〈企画・制作〉産経新聞社メディア営業局



経痛の治療法はあるのですか。

顔面けいれんの薬はあり

